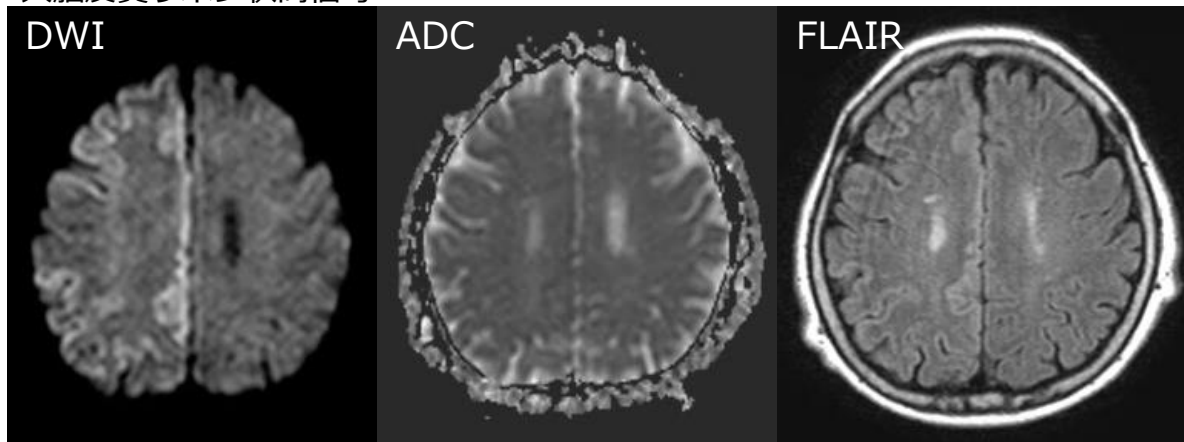


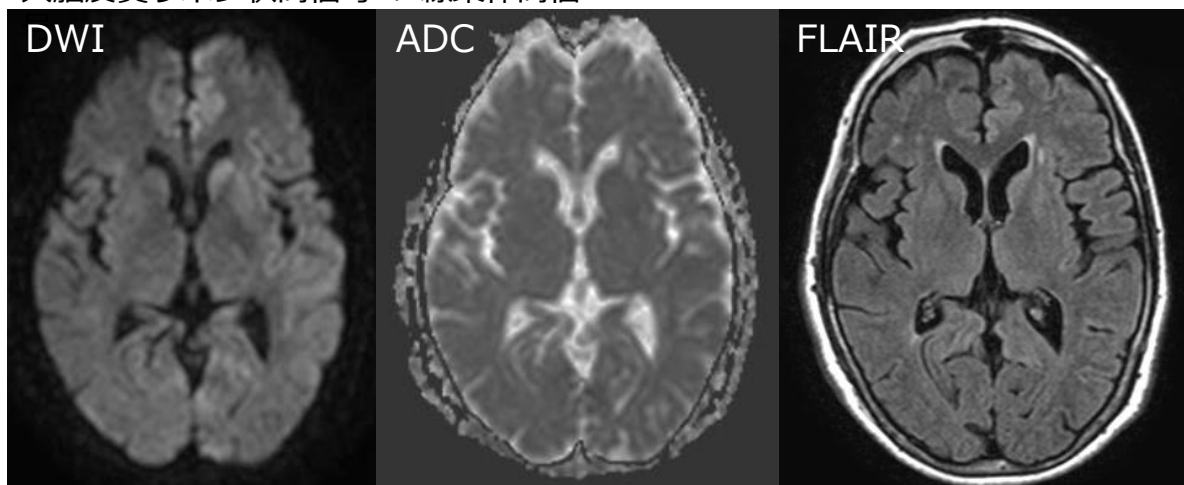
プリオン病における画像診断基準の検討

研究分担者：国立大学法人徳島大学医歯薬学研究部 原田雅史

大脳皮質リボン状高信号



大脳皮質リボン状高信号 + 線条体高信



解説

1. 弧発姓CJDの画像の特徴として、
 - 1) FLAIRよりDWIの方が信号変化が明瞭で強い
 - 2) DWI高信号病変では、ADCは基本的に低下
 - 3) 初期では、異常信号は左右非対称であるが、後期は両側に出現する
2. 他疾患との鑑別として、以下の項目があればCJDを否定する。
 - 1) DWIよりFLAIRで明瞭な高信号、またはADCが上昇
 - 2) 病変が初期から左右対称的
 - 3) 病変の主座が辺縁系や白質にある
 - 4) 病変で脳血流が上昇